



6



4



5



3



1



2

- 1 「日本三大芋煮」の振る舞いでは、整理券配付時間前から長蛇の列ができていました。
- 2 なかやま保育園年長児による元気いっぱいのお遊戯。
- 3・4 今回のイベントの目玉「日本三大芋煮」の振る舞い。3市町のスタッフが力を合わせました。
- 5 初めての試み、フラッシュモブパフォーマンス。
- 6 子どもたちに大人気！鮎のつかみ取り大会。



「いつもはちよっぴり苦手なねぎもきのこも、芋煮にしたら食べられるよ！」

特集 「日本三大芋煮」が大集合！ 元祖芋煮会 in 中山

9月13日、最上川中山緑地せせらぎ公園で「第7回 元祖芋煮会 in 中山」が開催され、大勢の家族連れでにぎわいました。このイベントは、中山町が芋煮会発祥の地であることをPRし、発祥の地で芋煮会を楽しんでもらおうと毎年開催されているものです。

第7回となる今年は、中山町誕生60周年を記念して、当町と同様に芋煮文化を誇る愛媛県大洲市の「いもたき」、島根県津和野町の「芋煮」、当町の「芋棒煮」を「日本三大芋煮」とし、各400人分用意。それぞれ現地のスタッフが調理し、3種類を1セットとし、無料で振る舞われました。

「日本三大芋煮」が集合

3市町の芋煮が一堂に会するのは、今回が初めて。これをきっかけに、芋煮文化を誇る市町同士親睦を深めようと、調理スタッフのほか、清水裕大洲市長、下森博之津和野町長も足を運んでくださいました。

また、今年6月に災害時相互応援協定を結んだ宮城県松島町の大橋健男町長、櫻井公一町議会議長など関係者を招待し、中山町について知ってもらおうと、町職員による案内で中山町内の視察が行われました。

太鼓・歌・ダンスで賑やかにおもてなし

イベントは、中山玄藩太鼓の皆さんによる太鼓演奏で幕を開けました。なかやま保育園年長児による元気いっぱいの合唱や

ダンス、中山総合スポーツクラブ会員の皆さんによるヒップホップダンスやフラダンスも披露され、訪れた人を賑やかにもてなしました。

オープニングイベント後、「日本三大芋煮」の整理券が配付されました。先着400名に配付予定でしたが、3種類の芋煮を味わおうと大勢の来場者があり、会場内に取まらないほどの長い列ができていました。中には、整理券を受け取れなかったという来場者も。

「三大芋煮が食べられなくて非常に残念。いつか大洲市、津和野町に行く機会があったら今度こそ食べてみたい」と悔しそ

一方、見事整理券を入手できたという方は、「日本三大芋煮が一度に味わえる機会は滅多にない。この機会に食べなければ」と思い、整理券配付開始の2時間前から並びました」と苦労を語り、「食べるのが楽しみ」と笑顔。実際に「日本三大芋煮」を試食した方からは、「3つとも大変おいしい。今日一日で3か所を旅した気分」と大変好評でした。

驚きのサプライズも！

イベントの中盤、サプライズとして野口久美子さん（柳沢）による民謡のミニコンサートが行われました。

プログラムには記載されていない催しだったので、来場者は思いがけないサプライズに驚きながらも歌に合わせて手拍子を

し、歌声に聞き入っていました。サプライズはこれだけではありません。初めての試みとして、スタッフ、中山総合スポーツクラブの会員が中心となってフラッシュモブによるパフォーマンスに挑戦しました。フラッシュモブとは、不特定多数の人々が、公共の場で突如パフォーマンス（ダンスや演奏）を行うことです。

野口さんの歌う「花笠音頭」に合わせ、円形花壇を囲んでスタッフや中山総合スポーツクラブのみなさんが花笠踊りを踊りだすと、初めは見ているだけだった来場者も踊りの輪に加わりはじめ、曲の終盤には大きな輪ができていました。



宮城和夫さん・清美さん
(仙台市若林区)

日本各地の芋煮が食べられるとのことで、今回初めて来てみました。中山町と津和野町の芋煮は薄味で上品。特に、津和野町の芋煮は鯛だしをとっているとのことで、贅沢な気分をいただいています。大洲市のいもたきは、味がしっかりしていて山形の芋煮に近い。それぞれ個性があって、大変おいしいです。